

建築学科 カリキュラム・ポリシー

建築学科ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。

1. 基幹科目は、演習を中心とした科目を配して関連する諸分野の知識を統合し、創造的な空間の提案を行なう能力を培う。
2. 建築設計・計画分野では、高度な専門知識の基盤を備えるための講義を配し、機能的で美しい建築を計画・設計するための幅広い基礎知識を身につけるとともに、演習科目により自分のアイデアを表現する能力・技術を養う。
3. 建築環境工学・設備分野では、高度な専門知識の基盤を備えるための講義・演習の複合型科目を配し、良好な建築環境を創造・維持するための幅広い基礎知識や技術を身につける。
4. 構造力学・建築一般構造分野では、高度な専門知識の基盤を備えるための講義や講義・演習の複合型科目を配し、安全な建築構造物を計画・設計するための幅広い基礎知識や技術を身につける。
5. 建築材料・生産分野では、高度な専門知識の基盤を備えるための講義や講義・演習の複合型科目を配し、建築の材料や施工法に関する幅広い基礎知識や技術を身につける。
6. 共通科目では、高度な専門知識の基盤を備えるための講義を中心として、建築に携わる者が共通して備えるべき幅広い知識や倫理観を身につける。